塾生さん、いま何してる？

『塾生インタビュー② ～河越 義雄さん～』

今月と来月に分けて塾生２名のインタビューを掲載します！
二人のことを知って、今後の成長を応援していただけると嬉しいです！！

Q1 作り手養成塾への志望動機
A1「木軸ペン」好きから、木工とりわけ挽物に興味をもったためです。買い手としてのみだけでなく、作り手としてもやってみたいと思いました。

Q2 置戸町のイメージは？
A2 大きな図書館！
公共施設が充実しているイメージです。

Q3 オケクラフトについての感想
A3 エゾマツのはっきりとした木目の美しさが好きです。センの木は図鑑で見ただけの時はあまり魅力を感じなかったものの、オケクラフトで実物を見た時、気に入って買ってしまいました。

Q4 今後の目標は？
A4 現段階では、まだまだ右も左も分からない状態なので、具体的なことは言いづらいですが、とにかく一人前の作り手になるのが目標です。

Q5 町民の皆さんへ一言
A5 まだ置戸に引っ越してきて間がなく、分からない事も多いですが、今後ともよろしくお願いします。

作業中の河越義雄さん→

【手の動きが見える 手仕事の逸品
－笹野一刀彫り『尾長鳥』－ 】

潔く美しい切り口。その名の通り、一太刀で作られる断面は職人の手の動きが見られる逸品です。

山形県米沢市の名産品である**『笹野一刀彫り』**は、江戸時代安永の頃、米沢藩主 上杉鷹山（ようざん）が豪雪で閉ざされた冬期の副業として指導、奨励したことにより広まったとされています。

材料には油分が多く滑らかな質感を持つ、**「コシアブラ」**と呼ばれる天然の喬木（きょうぼく）が使用されます。幹がブナのように白いのが特徴で「豆腐の木」とも呼ばれるようです。この木を毎年、地元の山から使う分だけ採取し、**「サルキリ」**というとても大きな刃物１本で、職人が一つひとつ丁寧に作り上げます。木の形に合わせて作り上げるため、一つとして同じものはなくそれぞれ表情も異なります。

『笹野一刀彫り』では、最も有名とされる「お鷹ぽっぽ」のほか、「鶏」や「鶴亀」、「恵比寿大黒」、「尾長鳥」など縁起を担いだ様々なモチーフをもとに製作されています。

※モチーフは以下のようにまとめられています↓

「**『鶏』**のように早起きし、**『餅つき兎』**のように賢明に努力して、**『蘇民将来（そみんしょうらい）』**を信仰し、**『恵比寿大黒』**を守り神とする**『笹かむり農婦』**の農民は**『亀』**の如く長寿保命が約束され**『せきれい』**の如く子孫が繁栄し**『お鷹ぽっぽ』**のように禄高が増す。」

今日は何を知ろうか

◎見事な尾が幾重にも重なる美しい尾長鳥。「鳥」は「とりこむ」ことから商売繁盛の意味をもつものも。

◎くるくると巻かれた特徴的な尾は「削りかけ」と言われる技法で、元はアイヌから伝わったとされる技法である。

ふかよみコレクション

今月の一品

かくれた一品　おすすめの一品
毎日　オケクラフトとともにいる
私たちの一品をご紹介します！

樹　種：エゾマツ
価　格：3,300円（税込）
サイズ：直径120㎜× 高さ57㎜

今月のおすすめの一品は、木工房 まんまの『まり鉢』です。

エゾマツの白くて優しい雰囲気と、全体が丸くて口周りが少し内側に入った形は、両手でそっと包み込みたくなるようなかわいらしさです。

この器でスープやお汁粉等、冬においしいあったかメニューを楽しんでみませんか？きっと心も身体もぽかぽかになることでしょう。

かわいらしい印象ですので、小さいスプーンを添えて出産祝い等にもおすすめです。

ショップ販売員
平

毎月 1日発行 森林工芸館発行

森林工芸館のあれこれ

置戸町の HP から森林工芸館のページへ移動すると、これまでに発行した「森林工芸館のあれこれ」をご覧いただけます。

こちらのQRコードからも「森林工芸館のあれこれ」バックナンバーをご覧いただけます。

オケクラフトの誕生から40周年を迎える今年。「森林工芸館のあれこれ」でも 40 周年に向けた動きのほか、これまでにも掲載してきた「オケクラフトの歴史」など、引き続き皆さんにお伝えできればと考えています。

森林工芸館、中央公民館のあれこれ設置ブースには、アンケート用紙も準備していますので、皆さんからのご意見・ご要望をお聞かせください。お待ちしています。

３年目をむかえる「森林工芸館のあれこれ」も、よろしくお願いいたします。